

お金を安全に保管する

仕事についたり、会社を作ったりしたら、稼いだお金をどうするか考えなければなりません。現金ならポケットに入れておくか、マットレスの下に隠すのもいいでしょう。でも、銀行に預けたほうが安全ですし、べつのメリットもあります。銀行口座をもてば融通がききますし、銀行は必要ときに信用貸しをしてくれたり、お金をふやす手伝いをしてくれます。

裕福になりたいなら、
稼ぐだけでなく
貯金することも考えよ。
——ベンジャミン・フランクリン

安全で確実

銀行に口座を開くのは、まず第一に警備が厳重な建物の地下金庫にお金を預ければ安全だと思うからです。しかし、このごろの銀行は多額の現金を置かないのがふつうで、口座のお金はコンピュータ・プログラムの数字にすぎないのです。それでも、ポケットに現金を入れておくよりは安全です。たいていの人が銀行口座をもつ大きな理由は、便利だからでしょう。いまでも、週末や月末に現金をもらっている人はいますが、給料を銀行振込にする会社はますます増えています。小さ

金融アドバイス

銀行はいろいろな種類の預金や投資を提供し、どれを選べばいいかアドバイスもしてくれる。しかし、銀行は自分のところに預けてもらうことを前提にしている。その点、個人の金融アドバイザーなら、いろいろな銀行のサービスをすべて比較したうえで、どれを選ぶべきか相談のってくれる。



な会社なら商品やサービスを現金で売する場合もあるでしょうが、デビットカードやクレジットカードを使う客はふえる一方です。ですから、お金を稼ぐ人たちにとって、銀行口座はなくてはならないもののなのです。

すぐに手に入る

銀行はあなたの収入を保管する場所を提供する以外に、あなたが支払わねばならないもの、つまり支出の管理もしてくれます。銀行の窓口やATM（現金自動預け払い機）でお金をおろすことはできますが、店頭で買うときも、テレフォンショッピングやオンラインショッピングでも、銀行のカードを支払いに使えます。それに、家賃やローンの返済など毎月の支払いを、銀行に頼んで口座振替にしてもらえます。口座のお金の動きを知るには、オンラインのバンキング・サービスがあり、それでお金の管理ができます。

もうひとつのメリットは、思わぬ出費があったり、高額の商品を買うとき、銀行からお金を借りられることです。これを当座貸越と言ひ、口座にある金額以上を使うことができます。この場合、銀行に手数料を払うか、利

稼いだお金をどうする？

投資
お金を自分の会社に投資するにしても、よその会社の株主になるにしても、リスクはつきものだ。

貯める
お金を定期預金口座に入れたら、将来の資金になる。

使う
お金が手元になれば、何か必要になったときや、値下がりがしたときにすぐ買える。

子をつけて毎月返済します。

使い残しを使う

出費をすべて払っても余裕があれば、残ったお金をどうするか考えるでしょう。自分へのごほうびに前から欲しかった物を買うか、銀行に預けておくか。将来に備えて貯金することにしたなら、ただ口座に入金する以外にも選択肢はあります。たいていの銀行が定期預金口座を設け、普通預金より高い利息をつけています。そういう口座に預ければ安全なばかりか、お金がふえるのです。株を買ったり（p.100-101 参照）、投資信託にお金を預ける方法もありま

⑥ 余ったお金

慎重な人は、毎月の支払いをすませてもお金が残るように気を配るものだ。そのお金を使うか、投資にまわすか、貯金するか、決めるのはあなただ。

す。投資信託は顧客に代わって株や金融商品を売買してくれます。銀行に預けるよりもうけが大きい分リスクも高いので、決める前に金融アドバイザーに相談したほうがいいでしょう。

知識に投資すると、
最高の利息がつく。

——ベンジャミン・フランクリン